

# ただよ 漂うクラゲは泳がない

ち きゅうじょう 地球上にいるさまざまな生き物たち。その「いとおしくておもしろい」生きざまを、ちょっとのぞいてみよう。こん かい 今回は、すず 涼しげな見た目のあの生き物。

## およ 泳ぐの？ およ 泳がないの？ どっちなの



あつ なつ うみ で 暑い夏、海で出くわすとうめい 透明なあいつ。そう、クラゲ。さ 刺されたら痛いけれど、み 見かけはすず 涼しげでうつく 美しく、すいぞくかん 水族館ではにん き ものにゆう 優雅にふわふわ泳ぐ姿もおもしろい。…あれ、ちょっとまって、クラゲっておよ 泳げるんだっけ？

じつ 「実は…あまり泳げない！」



うご ふわふわとしたあの動きは、にんげん 人間でいうしんそう 心臓とおな 胃はたらき。はくどう 「拍動」といって、からだ ぜんたい 全体にえいよう 栄養やさん そ 酸素をおく 送っているんだ。

このときにみず お だ ちから およ 水を押し出す力で泳げるといえば泳げるけれど、うみ なか と、海の中だと、

「うわ～！ なが 流される～！」

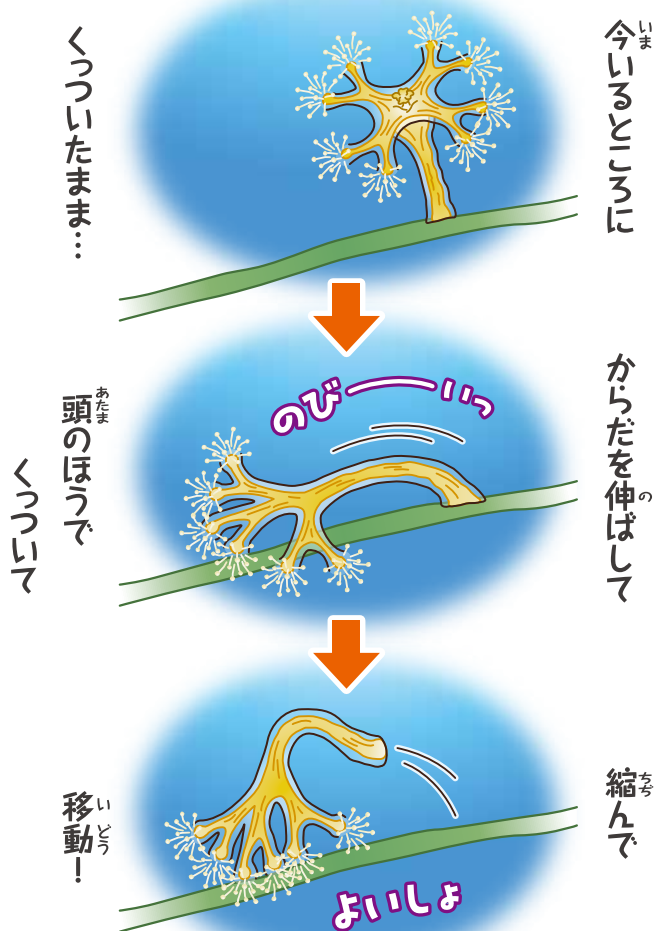
…ということで、すす 進む力よりみず 水のなが 流れのほうがつよ 強いから、お なが 押し流されていってしまう。だから、いき 行き先は自分でもわからないんだ。



# 泳がず、漂わず、 でんぐり返し!?

クラゲのなかには、泳ぐことも、漂うこともしない種類がいる。たとえば、「十文字クラゲ類」がそうだ。十文字クラゲは、からだからひものような一本足がにゅっと伸びた姿をしていて、その足で海藻などにくっついて過ごす。植物のようにそのままじっと動かないのかと思いきや…

「ちょっと引っ越すか〜」



▲アサガオクラゲ



ササキクラゲ▶

よいしょと伸ばした頭を、離れた場所にくっつけた! 頭にある花のような触手の先や根元に粘着質な部分があり、まずはそれでからだを固定する。次に、一本足を浮かせてからだを縮め、まるででんぐり返しのような動きをする。一本足を別の場所におろしてくっ付けると、移動完了だ。花のような見た目だけれど、動きに“華”は欠けるかも?

大型のクラゲには、小魚が触手の間に入り込んでいたり、エビがすみついたりしていることがある。毒を持つクラゲは天敵から守ってくれる壁になり、時にはクラゲが取った餌をこっそり横取りもできる。小さな生き物にとって、クラゲはまるでセキュリティばっちり、食事付きの「豪華客船」なんだ。